

上越市立谷浜小学校 6年生の総合学習

『謙信公 義の塩づくり』への支援活動の報告

実施クラブ名：第7分区 越後春日山ロータリークラブ

実施日：2019年9月12日（木）

場所：谷浜海水浴場

『謙信公 義の塩』とは

新潟県が誇る戦国武将上杉謙信は武田信玄の領民が今川・北条の塩止めで苦しんでいることを知り、『信玄と争うところは、弓箭（戦争）にある。米塩ではない。』と以前と同様に塩を輸送しました。武田の領民は謙信公の高義を深く感じ、『義の塩』として徳を称えたと言われています。

この有名な逸話をもとに、2002年より上越市の谷浜観光協会では昔ながらの製法で丁寧に製造した天然塩を『義の塩』と命名し、地元特産品として製造・販売を行っております。

活動開始に至るまでの経緯

2002年より、上越市立谷浜小学校では6年生の総合学習の一環として地域の皆様のご協力のもと、昔ながらの製法で製造される『義の塩』づくり体験を通じて地域の歴史と様々な知恵を学んでいます。

越後春日山ロータリークラブでは、『義の塩』づくり活動の指導者の一人が当クラブの会員だった縁で、当初は奨励金の活動支援を行ってまいりましたが、2005年より海岸で共に『義の塩』づくりをするとともに、後日児童を招いて、例会時に学習成果発表会を例会時に行っております。

活動内容と報告

当日は谷浜小学校より6年生児童、担任教諭、校長が活動しました。加えて、海外留学生にも是非体験させて欲しいと新井RC佐藤明巨様、呼格吉勒様が米山奨学生のシュウショウナンさん（中国）を連れ参加し、糸魚川中央RCからは、神谷勇一様ご夫妻が本年度の長期交換留学生のユディトクルツさん（ドイツ）と参加しました。又、高田RC高坂光一会長も加わり、当クラブ会員23名と共に『義の塩づくり』他、海岸の環境整備活動をしました。海外からの留学生と児童との交流も出来た、多角的な青少年、奉仕プロジェクトとなりました。

普段はなかなか海外の方と交流を図る機会がない児童達にとってこれは大変貴重で有意義な経験です。そして児童へは、この留学生はロータリークラブが行っている高校生を対象とした青少年交換留学プログラムによるものだという説明をしました。高校生になったら是非チャレンジしていただけることを期待していると伝えました。

また、当日はテレビ・新聞等、複数のメディアより取材が入り向上イメージも図れました。

尚、越後春日山ロータリークラブのホームページにて当日の活動内容の様子を動画でご覧いただけます。



児童とロータリアン共同の海岸清掃



海水をバケツリレーで水槽まで運びます



留学生も一緒に塩づくりを体験しました